

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 消防団DXの推進事業

自治体名

長野県朝日村

消防団名

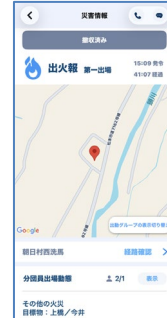
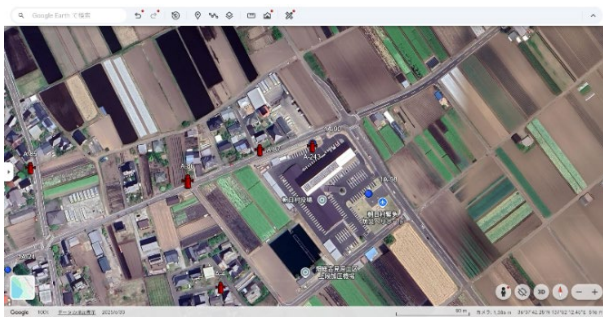
朝日村消防団

1 事業の目的

消防団員の減少により、団員一人あたりの負担が増加し、地域防災力の低下に繋がることが懸念される。消防団のデジタル化を進めることで、団員の負担軽減及び事務の効率化を図り、効率的かつ持続的に災害対応ができる運営体制を総合的に構築する。

2 事業内容

- ・ 消防水利台帳データ整備
村内の消防水利を台帳化及びGISデータ化し、平時からアプリ「グーグルアース」上で消防団及び地域住民が確認できるように実装した。
- ・ 消防団アプリの導入
消防団アプリを団員個人のスマートフォンにインストールすることで、災害時の出動指令通知（消防局の指令台と連動したプッシュ通知）及び出動状況報告、災害現場や消防水利の位置把握、情報連絡・共有等がアプリ内で一元的に行うことができるように実装した。



3 事業成果

- ・ 火災発生時にアプリによるプッシュ通知により迅速に出動体制を整えることができた。また、アプリ上で水利の確認することで迅速な水利確保、初動体制の確立ができた。
- ・ 従来、出動報告は紙にて報告を行っていたため、消防団員、事務局ともに負担が大きかったが、アプリのGPS機能や自動集計機能等を活用して、事務の効率化・正確化を図ることができた。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	1回以上	5回	
ヒアリング等	回数	2回以上	2回	
打合せ	回数	3回以上	10回	

5 その他参考情報

今後、アプリのインストール率を高め、定期的にヒアリングをしながら、検証と改善を図っていく。